

季刊

はまかせ



C O N T E N T S

- 新年のご挨拶 一宮 仁・平野 礼子
- 浜の町病院Rapid Response System(RRS) :
早期警戒対応システムについて 田中 亮
- 地域医療連携課だより
・がん相談支援センターについて
・産婦人科を受診される患者さんへ
- 登録医から一言
- 外来診療担当医一覧

理 念

『病める人の身になって、
心のこもった最良の医療を目指します』

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

Hamanomachi Hospital

〒810-8539 福岡市中央区長浜3丁目3-1 TEL 092・721・0831 FAX 092・714・3262

<http://www.hamanomachi.jp>



院 長 一宮 仁

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、医療費削減を目指した診療報酬改定の影響で、全国の病院で収支が悪化しましたが、当院は皆様のご理解とご支援により真っ当な医療提供が継続できました。本年も引き続き、新しい医療制度をご理解いただき、ご協力とご支援をお願いいたします。

昨夏のリオ・オリンピックでは史上最多の41個のメダルを獲得、暮れには福岡市出身である大隅良典博士のノーベル医学・生理学賞受賞などの喜ばしいニュースもありました。一方で、熊本でのM7を超える地震、稀有な進路を辿り北海道に過去最悪の被害をもたらした台風10号など、国内の方々に天災被害が発生しました。熊本地震では当院からも水や食料、医療材料などの物的支援と医師と看護師派遣による人的支援を行いました。福岡市の基幹病院として災害時にも機能を発揮できる体制や備蓄状況などを見直しました。

さて、今年の干支は丁酉（ひのととり）です。丁は安定、酉は実り、丁酉は相克の年だそうです。新しい法律や制度により混乱を来すといわれていますが、混乱の中にも将来に向けた希望の光が見えるとの期待も込められています。医療の分野はまさに制度改革で混乱しています。超高齢社会となり、医療需要の多い高齢者の増加により医療費が膨張して医療財政は極めて厳しい状況に立たされています。ところが、医療と介護の財源とみられていた消費税増税は先送りとなりました。増税に関しては賛否両論ありますが、いずれにせよ何らかの手段で医療財源を確保しないかぎり、国民皆保険制度の存続が危ぶまれます。地域医療構想の大枠はほぼ決定しましたが、救急医療、小児医療、在宅医療、精神疾患医療等の各論については、これから調整と整備が行われます。果たして、医師・看護師など医療従事者の地域偏在や医師の診療科偏在を改善して医療過疎地域を解消することができるのでしょうか？医療事故の原因を解明して再発防止を目的とする医療事故調査制度も開始され、また新専門医制度も今年から動き始めますが、いずれも未だ混沌とした状態です。本来の目的に叶った制度運用ができることを望みます。

健康寿命を延ばして平均寿命との差を縮めることや一億総活躍社会が提唱されています。一線を退いた後は、社会との繋がりを保ちながら穏やかで心豊かに健康寿命を愉しみたいものです。

新病院に移転して3年が経過し運営は安定してきました。私たちに求められる次のステップは、超高齢社会におけるこれからの地域医療の理想型を考えながら、病院も個々の職員も新たなプランを立てて進化していくことだと思います。医療従事者として充実した一年になるよう同じ目標に向かいたいと思います。

地域医療構想の根幹は機能の分担と連携による地域完結型医療および在宅医療の推進です。登録医をはじめ地域の先生方との連携をより一層強化して、地域医療支援病院としてあるいはがん拠点病院としての使命を果たしたいと思います。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますことを祈念いたします。

平成29年 元旦

2017年（平成29年）



看護部長 平野 礼子

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年、九州は多くの自然災害に見舞われました。4月の熊本地震、5月の桜島噴火、10月の阿蘇噴火など、被害や被災に遭われた皆様にはお見舞い申し上げますと共に1日も早い回復や復興を願います。

誇らしい出来事としては、東京工業大学の犬隅良典教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されたことで3年連続日本人の受賞となりました。

また、オリンピックイヤーでもありました。日本は過去最高、41個のメダルを獲得しましたが、皆様はどのような種目の活躍を思い出されますか？

私は体操男子団体の優勝（金メダル）と陸上男子100m×4リレーの2位（銀メダル）が強く印象に残りました。体操男子団体はまさかの予選4位での通過、加えて決勝1種目目のあん馬での落下という事態から個人個人が持てる力を発揮し勝ち取った優勝でした。陸上男子リレーは、個々人の走力が劣っているのをバトンパスの技術を磨きチーム力を最大化することに成功し獲得したメダルで世界が驚き賞賛した出来事でした。

医療もチームでおこないます。「チーム」として最良の医療を提供するためには、職員一人一人が専門分野のスキルを磨くと共にルールを守り医療を提供することが必要だと考えます。看護部では個人の能力向上のため様々な研修企画を院内で用意しておりますので、院内外から活用いただくことを期待します。また、規範を守る組織文化の醸成にも努めてまいります。

本年は診療報酬W改定の前年度に当たる年です。2025年に向け医療を取り巻く環境は一層厳しくなると予想されます。また、一昨年より取り組んでいる労務環境の改善も未だ道半ばです。多くの課題や問題がありますが職員の知恵や創意工夫を結集させチームの力を高めて1つずつ乗り越えて行きたいと思います。

本年もどうぞご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

「浜の町病院Rapid Response System(RRS) : 早期警戒対応システムについて」

救急センター 田中 亮



はじめに

自分の家の窓から、ふと外を見たときに、お隣さんの家の前に不審な車両が停まっていたら、あなたはどのような行動をとりますか？しばらくすると、その車から怪しげな男が降りてきて、周囲を気にしながらお隣さんのお庭に入って行ったら？そして何やら器具を取り出して窓ガラスを割って、室内に入って行ったら…！？

普通は、警察を呼ぶために110番をしますよね。問題は、どの段階で電話するかです。室内への侵入を確認してから電話していたら、警察が来た頃には泥棒は逃げてしまうかもしれません。お庭に入った時点なら、室内に入ったところで捕まえられるかもしれませんが、窓ガラスは割られてしまっているでしょう。いずれにしても被害が出てしまいます。一番良いのは、怪しいと思った時点で連絡することです。警察を呼ばないにしても、お隣さんに電話してみる、怪しい車の付近を歩いてみるなど、何らかの対策をとることです。そうすれば、犯人は捕まらないかもしれませんが、被害は最小限に抑えることができます。

RRSとは

犯罪とは異なりますが、当院で導入しているRapid Response System(RRS)は早期警戒対応システムと呼ばれ、入院中の患者さんを対象にした、まさに「患者さんの体に生じる被害を最小限に食い止める」ことを目的としたシステムです。

バイタルサインの重要性

入院患者さんの病名は様々で、担当科・治療内容・重症度・経過などは、すべて患者さんごとに異なります。しかしながら、患者さんの体の状態を最終的に反映する指標は、我々の用語でいう「バイタルサイン」というものに集約されます。バイタルサインとは、入院中に看護師さんが定期的に測定、あるいはモニターとして画面上に記録されているもので、血圧・脈拍・呼吸数・意識レベル・酸素飽和度などを指します。入院中、急に状態が悪くなる患者さんのうち60~80%は、その6~8時間以前に、何らかのバイタルサイン異常が認められているという研究結果があります。つまり、このバイタルサイン異常を、できるだけ早期に認識することが、状態悪化という被害を最小限に食い止めることにつながるのです。

当院では平成26年からRRS試験運用を開始し、平成27年4月からI C Uなどの特殊病棟を除いた全病棟で正式運用しています。看護師さんは、患者さんのバイタルサインを測定する際に、RRS用のシートに基づいて患者さんの状態を評価します（表1）。評価の結果、白・黄色・オレンジ・赤に分類し、重症度・緊急度を判断して、RRSで規定された対処法をとることになります。このRRSの利点の一つは、状態が悪化した時の対処法まで細かく規定することで、すべてのスタッフが普遍的な対応をとれることです。スタッフの経験年数や技術の問題によって、患者側に不利益が生じないような仕組みを構築しました。

しかし、患者さんの状態を把握するだけでは不十分です。いざ緊急事態が発生した際には、すぐに患者さんのもとに駆け付けて、適切な処置をする体制が必要です。当院ではこの目的のために、救急センタースタッフを中心として、救急対応チーム (Rapid Response Team: RRT) を組織して、緊急時のチーム医療の充実を図っています。また、平時から定期的に病棟回診を実施し、不安定な患者さんがいないか、看護師さんが気になっていることはないかなど、気軽に相談できるように配慮しています（写真1）。

表1. RRSの運用シート

[illegible]

写真1. RRTの回診風景



おわりに

犯罪を警察が未然に防いでも、数字には表れません。平和と安全は目に見えないものなのです。院内の安全も、実はこうした2重3重の取り組みによって守られています。RRSを導入して以降、すでに7件程の緊急事例に対応し、いずれも大事に至らずに済みました。残念ながら人間の体に起こりうる不意の急変を完全にゼロにすることはできませんが、可能な限り減らすための努力をしなくてはなりません。すべては患者さんに最良の医療を提供するために、今後もシステムの普及、改良を重ねていく予定です。

がん相談支援センターについて

がん相談支援センターとは？

当院は県の指定を受けたがん診療連携拠点病院であり、がん診療の質の向上及びがん診療連携協力体制の構築に関し中心的な役割を担います。

その役割の一つとして患者さんや家族あるいは地域の方々に、がんに関する情報を提供したり、相談するがん相談支援センターを設置しています。

がん相談支援センターの役割は以下のとおりです。

(地域、がん患者その家族の相談の窓口)

患者さんや家族あるいは地域の方々に、がんに関する情報を提供したり、相談にお応えしています。ご相談は看護師、ソーシャルワーカー、がん看護専門看護師が受けておりますが必要に応じて、心理士や栄養士、薬剤師、医師などが一緒にお話を聞かせていただきます。

■実際の相談内容の例

- ・がんの治療について知りたい 手術以外の治療はあるのか？
- ・セカンドオピニオンって何？どうやって予約するの？
- ・主治医とコミュニケーションをうまくとりたい
- ・自宅で安心して生活していくためどのようなサポートがあるのか？
- ・手術の費用は？化学療法の費用は？

- ・緩和ケアの病院が知りたい 在宅での見取りについて
- ・職場復帰するには？(就労支援)

厚生労働省では、ハローワークに就職支援ナビゲーターを配置し、がん診療連携拠点病院などとの連携のもと、個々の患者の希望や治療状況を踏まえた職業相談・職業紹介、患者の希望する労働条件に応じた求人の開拓、患者の就職後の職場定着の支援などの就職支援を全国的に実施しています。福岡では九州がんセンターで出張相談による職業相談や労働市場、求人情報などの雇用関係情報の提供も行っています。

ご相談方法は直接お越し頂いたり、電話でもお話を伺います。

お気軽にご利用ください。



浜の町病院
がん相談支援センター

- 受付時間：月～金 9:00 ～ 16:30(年末年始、祝祭日を除く)
- 場 所：1階 がん相談支援センター(地域医療連携課内)
- 連絡先：092-721-9991(地域医療連携課 直通)
- e-mail：info@hamanomachi.jp

産婦人科を受診される患者さんへ

平成29年1月より、産婦人科の受診は**紹介状をお持ちの方のみ**とさせていただきます。

産婦人科を受診される場合は、かかりつけ医からの紹介状をお持ちくださいますようお願いいたします。

受付時間

月・水・金 8:30 ～ 11:00

火・木 8:30 ～ 10:30

※新患は紹介のみ



地域連携だより

登録医から 一言

けんじょう
権丈産婦人科医院
副院長 権丈 洋徳

〒811-2202 糟屋郡志免町志免3丁目2-14
Tel 092-935-0505 Fax 092-935-3229
HP : <http://kenjo-sanfujinka.com/>



権丈産婦人科医院は私の父である院長が昭和46年に糟屋郡志免町で開業し、今年で45年目になる有床診療所です。

志免町は古くは炭鉱で栄えた町ですが、福岡市博多区に隣接し車で移動すると福岡空港まで約10分、天神まで約30分程度と市内中心部へのアクセスが良好なため、近年では福岡市のベッドタウンとして発展している町です。

当院は開業以来、志免町で地域に根差した医療を心掛け、産婦人科全般を幅広く診療し、生涯にわたって女性の健康やその生活を支援できるよう努力しております。特に女性にとって妊娠・出産は人生の中でも最も大きなライフイベントの一つです。無事に元気で健やかな赤ちゃんを産みたいという妊婦さんやご家族の願いが叶うように、スタッフ全員で協力して患者さんに寄り添い、より快適な妊娠・出産を迎えられるよう取り組んでいます。また産後のケアとしての母乳相談、乳幼児の健診や予防接種、子宮がん検診や検診の2次精査なども積極的に取り組んでいます。

より高度な治療を要する患者さんや当院で対応が困難な患者さん、他科の診療が必要と思われる患者さんは福岡市内の総合病院や大学病院と連携して診療にあたっております。

浜の町病院は当院院長が昭和38年に1年間、私が平成20年～平成23年の3年間勤務させて頂いた病院で、産婦人科はもとより他科の先生方とも大変親しくさせて頂き、当院としては大変なじみの深い病院です。以前より婦人科手術

を要する患者さん、当院で対応が困難な妊婦さんや他科での診療を要する患者さんなど、数多くの症例を紹介させて頂いています。いつも丁寧で安心できる診療を素早く行って頂き、大変感謝しております。とくに腹腔鏡手術や子宮鏡手術など近年急速に普及してきた低侵襲手術の適応になりそうな患者さんは積極的に浜の町病院を紹介しております。患者さんでも大変満足されており、診療面のみならず事務手続きなどの面でも、病診連携を取りやすい病院として頼りにさせて頂いています。

福岡都市圏の医療を支える中核病院として、浜の町病院は今後益々重要な役割を担っていくことになると思います。私どもの医院も浜の町病院の先生方や病院スタッフの皆さまに大変お世話になるとは思いますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



■ 救急患者紹介連絡先 月～金（8:30～17:15） Tel 092-721-9913(連携課直通) / Fax 0120-721-991(連携課直通)
上記以外の時間及び土日祝 Tel 092-721-0831(病院代表)

(平成29年1月1日現在)

診療科	時間	専門	月	火	水	木	金
救急センター		総合診療部	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎
		救急	廣津こう平	廣津こう平	廣津こう平	廣津こう平	廣津こう平
		血液新患	衛藤 徹也	吉田周郎	衛藤 徹也	平安山英穂	河野 一郎
		血液再来	吉田周郎	衛藤・河野	平安山英穂	衛藤・松尾弥生	平安山英穂
		循環器新患	池田次郎	酒見拓矢	白井 真	船越祐子	塩見哲也
		循環器再来	塩見哲也	船越祐子	酒見拓矢	池田次郎	白井 真
		消化器	尾石義謙	瀬尾 充	瀬尾 充	浦岡尚平	尾石義謙
		腫瘍	田中吏佐	田中吏佐	田中吏佐	田中吏佐	三ツ木健二
		肝臓	裴 成寛	高橋和弘	具嶋敏文	高橋和弘	高橋和弘
		呼吸器	前山隆茂	鶴田伸子	鶴田伸子	鶴田伸子	鶴田伸子
			水田佑一	前山隆茂	關 七重	前山隆茂	水田佑一
		糖尿病内分泌	澤田布美	平松真祐	平松真祐	澤田布美	平松・澤田
		腎臓	原 祥子	吉田鉄彦	出口孝史	出口孝史	吉田鉄彦
		膠原病	吉澤（予約再来のみ）	福元（予約再来のみ）	吉澤誠司	吉澤誠司	吉澤（予約再来のみ）
		感染症	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎
		総合診療	内田勇二郎	井上 健	当番医	内田勇二郎	当番医
脳神経センター	午前	脳外科	松角宏一郎 上坂十四夫 —	手術 紹介新患のみ (当番医)	松角宏一郎 上坂十四夫 —	手術 紹介新患のみ (当番医)	松角宏一郎 上坂十四夫 —
	午後	神経内科	松山友美	佐竹・松山	佐竹真理恵	佐竹・松山	佐竹（新患のみ）
		脳外科	松角宏一郎 前原直喜 —	手術 紹介新患のみ (当番医)	前原直喜 — —	手術 紹介新患のみ (当番医)	松角宏一郎 前原直喜 —
外科	午前	消化器・一般	許斐裕之 安藤鉄平 —	一宮 仁 植木 隆 安藤鉄平	前山 良 谷口隆之 —	許斐裕之 前山 良 池永直樹	植木 隆 池永直樹
		呼吸器	—	—	松本耕太郎	松本耕太郎	—
		乳腺・甲状腺	大城戸・安藤	大城戸・安藤	谷口隆之	池永直樹	池永直樹
	午後	乳腺・甲状腺	—	—	—	大城戸政行	—
産婦人科	午前	産科	神保友香 上岡陽亮 藤原ありさ 竹内麗子 前原 都 中村友里恵	藤原ありさ 大石博子 神保友香 友延尚子 —	中村友里恵 上岡陽亮 大石博子 竹内麗子 前原 都 神保友香	藤原ありさ 竹内麗子 前原 都 友延尚子 —	友延尚子 上岡陽亮 大石博子 藤原ありさ 神保友香 中村友里恵
		婦人科	—	—	—	—	—
整形外科	午前	整形外科	手術 紹介新患のみ (当番医)	馬渡太郎 松井 元 新井貴之 河野紘一郎 高橋宗志	手術 紹介新患のみ (当番医)	松井 元 井口貴裕 光安浩章 河野紘一郎	馬渡太郎 井口貴裕 光安浩章 新井貴之
形成外科	午前	形成外科	松本大輔 江藤ひとみ	手術 紹介のみ（要TEL） 岩井（予約のみ） —	松本大輔 江藤ひとみ	手術 紹介のみ（要TEL） 山崎（予約のみ） —	松本大輔 江藤ひとみ
泌尿器科	午前	泌尿器科	小藤秀嗣 山崎武成	小藤秀嗣 —	小藤秀嗣 山崎武成	山崎（予約のみ） —	小藤秀嗣 岩井秀憲
	午後	泌尿器科	小藤・山崎（予約）	手術	小藤・山崎（予約）	手術	小藤・岩井（予約）
小児科	午前	小児科	園田有里	野田麻里絵	兒玉志保	武本環美	野田麻里絵
	午後	小児科	野田麻里絵 予防接種	回診	武本（小児神経） 内分泌（第3）	1ヶ月健診 循環器（第4）	園田有里 健診・予防接種
耳鼻咽喉科	午前	耳鼻科	野田哲平 友延恵理 — —	玉江昭裕 野田哲平 友延恵理 西山和郎	手術	玉江昭裕 野田哲平 友延恵理 西山和郎	玉江昭裕 西山和郎
眼科	午前	眼科	佐々由季生 応援医	手術 (当番医)	佐々由季生 西村太吾	手術 (当番医)	佐々由季生 西村太吾
皮膚科（新患は紹介のみ）	午前	皮膚科	竹内 聡 池田真希	池田真希 膳所菜保子	竹内 聡 池田真希	竹内 聡 膳所菜保子	竹内 聡 池田真希
放射線科	午前	放射線科	松浦隆志 角南俊也 鎌野宏礼 舩本博史	松浦隆志 角南俊也 鎌野宏礼 舩本博史	松浦隆志 角南俊也 鎌野宏礼 舩本博史	— — — —	— — — —
精神科	午後	精神科	—	—	九 大	—	九 大
緩和ケア外来	午後	緩和ケア外来	永山 淳	永山 淳	—	永山 淳	永山 淳
健康医学センター（要予約）	午前	外来ドック	高崎智子 久野千津子	高崎智子 久野千津子	高崎智子 久野千津子	高崎智子 久野千津子	高崎智子 久野千津子

受付時間：午前8:30～11:00 午後1:00～2:30

発行責任者／浜の町病院広報誌編集委員会
委員長 吉澤 誠司